



1 年学年通信

= 保護者版 6月号 =

七尾高校 第1学年
令和6年5月21日

5/27	28	29	30	31	6/1	2
月	火	水	木	金	土	日
40分授業	45分授業	45分授業	総体特別時間割①(午前中) 石川県高校総体・総文	総体特別時間割②(午前中)	お手すきであれば、直接応援を	
3	4	5	6	7	8	9
月	火	水	木	金	土	日
代休(5/3分)	校内球技大会 総体総文貢献式・北信越大会 社行式	球技大会予備日 読書週間(～14日)	耳鼻科検診(1年) 主に進路に関するお話をします	学年集会(LH)	七高クラブ② 能登地質学巡検(希望者)	吹奏楽局定期演奏会(第一体育館)
10	11	12	13	14	15	16
月	火	水	木	金	土	日
		薬草調査実習(1年理数科)	北信越大会			県職員試験のため、校舎内立ち入り禁止
先の見通しをもった取り組みをしましょう。						
17	18	19	20	21	22	23
月	火	水	木	金	土	日
第1回いじめアンケート 考査発表 部活動停止期間	45分授業		文化講演会(七尾高校・午前中2時間)			
24	25	26	27	28	29	30
月	火	水	木	金	土	日
1学期期末考査				文化教室(午後・七尾高校)	見直しまでが模試です	
7/1	2	3	4	5	6	7
月	火	水	木	金	土	日
	野球・水泳・吹奏楽社行式			海産生物実習(1年理数科)	総合学カテ スト	
8	9	10	11	12	13	14
月	火	水	木	金	土	日
	マリンサイエンス(15H・全日)			マリンサイエンス発表会	バイオプラスチック ワークショップ「ぶらっなぎ」(希望者)	
15	16	17	18	19	20	21
月	火	水	木	金	土	日
海の日	40分授業	全国総体総文・合唱社行式	理数科・文フロ 中間発表会	終業式		
22	23	24	25	26	27	28
月	火	水	木	金	土	日
前期夏期補習(～31日まで・平日のみ)	外務省「高校講座」(1年生)	体験入学	保護者懇談会①	保護者懇談会②	ご予約確認の上、必ずご参加をお願いします。	
29	30	31	8/1	2	3	4
月	火	水	木	金	土	日
保護者懇談会③						

1.5/3(金)PTA 総会 | 1年学年集会について

● 大変お忙しい中、PTA総会後の学年集会にご参加いただきありがとうございました。様々なお願いを保護者の皆様にいたしました。参加できなかった保護者の皆様も、お子様よりお手もとに資料が届いていたかと思ひます。そちらをご確認ください。

● 質問の一つに、「文理選択と科目選択」についてがありました。10月ごろに、2・3年次に学ぶ教科を選択する【科目選択】、加えて、普通科普通コースの生徒は文系科目を中心に学ぶ文系か、理系科目を中心に学ぶ理系かを選ぶ【文理選択】もあります。予備調査や本調査など、2学期に入り次第、種々の連絡をいたしますが、1年次に決めた文理のコース選択や科目選択について、決定後の変更はできないことをご承知おきください。

2. 進路選択について考える機会を設けてみませんか

● 10月の科目選択と文理選択は大学や学部選びに大きな影響を与える、1年次の最も大きな進路関係行事になります。将来の夢、大学時代に経験したいこと、学んでみたいこと、取得したい資格や免許、等々。様々な面を総合的に考える必要があります。大学入試について調べたり、自らの得意不得意を生徒自身が具体的に分析し、何より納得の行く決定をすることが肝心です。生徒に完全に任せきりになるのではなく、保護者の皆様も調査を進め、生徒が大事な人生の第一歩を踏み出せるようにご支援をお願いいたします。特に下宿生など、保護者の方と中々対面で話が出来ない方は、帰省のタイミングなどを見計らい、ぜひ積極的な関わりをお願いいたします。

4. 5月を振り返って

1学期中間考査が終わり、総体総文に向け、各部がどんどん追い込みをかける時期です。1年生の生徒が総体総文において、重要なキーパーソンとなる部活もあり、日頃の練習の成果を発揮してもらえればと思ひます。一方で、試合に出場できない、もしくは応援する側に回ったり、出てもすぐに負けてしまい、手持ち無沙汰になるなど、時間がある1年生も多くいると思ひます。

そんなとき、1年生の生徒には3年生の姿をよく見ていてほしいと思ひます。インターハイや全国総文、北信越大会など、上位大会に進むことのできる部活動や3年生の数は多くなく、大半の3年生はどこかで敗退してしまいます。私は女子バスケットボール部顧問をしていますが、石川県でインターハイに出場できるチームは男女それぞれで1校しかなく、ほとんどの3年生がこの6月の総体で引退します。

「負けた先輩はカッコ悪いですか。」こう問いかけると、大半の生徒はそんなことないと答えます。多くの七尾高校生の先輩は、勝っても負けてもカッコイイです。

「“グッドルーザー（良き敗者）”であれと。県大会の初戦の前日に（選手たちに）言いました。どこで負けるかわからないから、負けたときに全力で相手に拍手を送って欲しいと。誇らしかった。これが伝統になって、いつか真の王者になれる日が来たらいいなと思う」（「人生は敗者復活戦」より引用 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230901/k10014177301000.html>）

仙台育英高校野球部、須江航監督は夏の甲子園大会の決勝で慶応高校に負けた後、自らのチームの選手を称えています。

勝負ごとには必ず、勝者と敗者がいます。社会でも明確な勝ち負けがないとはいえ、成功と失敗はつきものです。1年生の生徒には、この総体を通して、勝負の厳しさと、勝ち負けや成功と失敗を超えた何かを感じてほしいです。勝敗の伴わない部活動に参加する生徒も、総体総文期間中には外部との交流行事があり、価値観が変わることもあるはずで、また部活に加入していない生徒も、友達の応援に行くなど、ぜひ生で雰囲気だけでも感じてほしいです。ぜひ保護者の皆様も、自らのお子様が出場していてもいなくても、積極的な応援をお願いします。それが、多くの七尾高校生の励みになります。